

2024 年 12 月 13 日

株式会社ジェイ・イー・ティによる 「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」のご利用について

株式会社広島銀行(頭取 清宗 一男)では、株式会社ジェイ・イー・ティ(本社：岡山県浅口郡、代表取締役 房野 正幸)に「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」をご利用いただき、サステナビリティ経営方針の策定をご支援しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

会 社 名	株式会社ジェイ・イー・ティ
所 在 地	岡山県浅口郡里庄町新庄金山 6078
代 表 者	房野 正幸
業 種	機械製造業
事業内容等	半導体洗浄装置の開発、製造、販売、アフターサービス
サステナビリティ 経営方針 【詳細：別紙 1】	半導体洗浄装置において、環境負荷の低いプロセスにて代替える洗浄装置の開発により、社会に貢献すべく尽力しております。また、ここ数年の売上増大に対応すべく新工場を建設予定であり、最先端技術の導入による生産性の向上、研究開発の加速を図るとともに、社会的価値への貢献として、環境にやさしい地域社会との共生を実現できる工場にしたいと考えております。企業は人なりの考えのもと、2017 年以降、毎年 5～7 名の新卒社員を採用してきており、加えて新たな中堅社員の採用にも積極的に取り組んできました。新たな人財教育システムを含む人事制度を導入し、人財の早期戦力化を目指していきます。 【重要課題】 1.気候変動対策 2.環境負荷低減 3.労働安全衛生／健康経営 4.人財価値の最大化 5.Well-being／DE&I 6.先端半導体国産化への貢献 7.サプライチェーンマネジメント

※「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」の概要は別紙 2 をご参照ください。

以上



SDG 17

広島銀行では、SDGs への取り組みを強化しております。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】

2015 年 9 月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての 2030 年までの世界共通目標。持続可能な開発のための 17 の目標と 169 のターゲットで構成。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社広島銀行
営業企画部 法人企画室
TEL (082) 247-5151 (代表)

株式会社ジェイ・イー・ティ

サステナビリティ経営方針

サステナビリティ経営メッセージ Sustainability management policy

半導体洗浄装置において、環境負荷の低いプロセスにて代替する洗浄装置の開発により、社会に貢献すべく尽力しております。
また、ここ数年の売上増大に対応すべく新工場を建設予定であり、最先端技術の導入による生産性の向上、研究開発の加速を図るとともに、社会的価値への貢献として、環境にやさしい地域社会との共生を実現できる工場にしたいと考えております。
企業は人なりの考えのもと、2017年以降、毎年5〜7名の新卒社員を採用してきており、加えて新たな中堅社員の採用にも積極的に取り組んできました。
新たな人材教育システムを含む人事制度を導入し、人材の早期戦力化を目指していきます。

【別紙1】

企業理念

- ◆ ミッション：お客様第一主義に徹し、強い会社・良い社会づくりに邁進し、人を大切にし、社会貢献に努めてまいります
- ◆ ビジョン：技術優位の差別化された製品にて、世界市場で然るべき立場を獲得します
- ◆ プリンシプル：未来をつくる6つの約束（クレド）を基本に考え、行動します

INPUT

OUTPUT

OUTCOME

事業活動

持続可能な社会の実現へ

マテリアリティ	取組方針
気候変動対策	事業活動における環境負荷の低減と気候変動対策を実践する
環境負荷低減	環境負荷の高い硫酸を使用しない洗浄方法を確立する
労働安全衛生 健康経営	労働安全衛生の法令順守のもと、従業員が安全、健康、快適に働くことができる職場を提供する
人財価値の最大化	価値創造の源泉である人財が多彩な能力を最大限に発揮できるよう、人材育成投資を積極的に行う
Well-being DE&I	多様な人財が働きやすく、働きがいを持って活躍できる職場環境を構築する
先端半導体 国産化への貢献	革新的枚葉式洗浄装置の技術開発を継続し、量産化を推進する
サプライチェーン マネジメント	サプライチェーン全体でのサステナビリティ推進により、価値創造を図る

社会価値・経済価値創出	目標値
エネルギーをみんなに そしてクリーンに 気候変動に 具体的な対策を	・ 2025年 Scope1・2・3の測定実施 CNのロードマップ策定 ・ 2026年 TCFD賛同 ・ 2027年 SBT認証取得 ・ 2027年 新工場に再生可能エネルギー および省エネ設備の導入
安全な水とトイレを世界中に 産業と技術革新の基盤をつくろう つくる責任つかう責任	・ 2025年 硫酸を使用しない 洗浄方法の確立 ・ 2026年 レジスト剥離の工程で 硫酸を使用しない洗浄装置の 販売
すべての人に健康と福祉を	・ 労働災害発生件数 0件/年 維持 安全衛生講話 4回/年 ・ 定期健康診断受診後の再検診率 100% ・ ストレスチェックに基づく フィードバックの継続 ・ 2025年 働き方改革の マネジメント研修実施
質の高い教育を みんなに	・ 2025年 人材育成カリキュラム新設 ・ 2025年 e-ラーニング導入 ・ 2026年 資格取得費用補助制度導入
ジェンダー平等を実現しよう 働きがいも経済成長も 人や国の不平等をなくそう	・ 2025年 人事制度見直し ・ 2025年 育児休業取得率100% ・ 2026年 有給休暇取得率60% ・ 2026年 エンゲージメント調査実施 およびフィードバック ・ タウンホールミーティング実施による 理念浸透、従業員の意見聴取 6回/年 ・ 2026年 女性採用比率30%
産業と技術革新の 基盤をつくろう	・ 2027年 革新的枚葉式洗浄装置量産化 ・ 2033年 売上高比率 バッチ式50%、枚葉式50%
パートナーシップで 目標を達成しよう	・ 2026年 CSR調達方針、 サプライチェーン マネジメント方針の策定 ・ サプライチェーンの労働安全衛生、 環境、倫理などの分野に関する サステナビリティ評価の実施と 継続的な改善要請の継続

マクロ環境

ミクロ環境

社会： (機会) 急激な技術革新や半導体を使用するデバイスの市場拡大
政治経済： (機会) デカップリングの影響による米国、日本等での新たな投資
技術： (機会) AI半導体および関連するメモリーパワー半導体の性能向上、市場への普及
自然など： (機会) 環境にやさしい薬液への置き換え

顧客： (機会) 新たな投資計画
サプライヤー： (機会) 韓国、台湾、中国等の現地メーカーの技術力向上
競合先など： (機会) 該当なし

(脅威) 需給バランスの悪化から価格が下落し投資が一時的に縮小するリスク
(脅威) 米中貿易摩擦、地政学リスク等による輸出停止

(脅威) 半導体製造装置の自国での調達、大規模投資計画の変更
(脅威) 円安、部材高騰による仕入価格の高騰
(脅威) 新興洗浄機メーカーの技術力向上

外部環境

「〈ひろぎん〉サステナビリティ経営導入サポートサービス」について

○特長

・これまでに公表されているサステナビリティ経営に関するさまざまな指標と、日本・地域特有の社会課題、更には企業の理念やビジョン、経営資源、外部環境等を踏まえて作成した当行専用ツール※を使用し、経営者との複数回の対話を通じて、サステナビリティ経営の観点から全体を俯瞰し、その導入・実践に向けて検討すべき重要課題（マテリアリティ）の絞り込みおよびサステナビリティ経営の実践に向けた基本方針の策定をサポートします。

※ サステナビリティ経営コンサルティングに専門的な知見を持ち、地元企業へのサステナビリティ経営導入支援という主旨に賛同いただいた日本経済研究所が作成したツールをもとに、地域課題も踏まえ作成した当行オリジナルのツール

・社内での啓発や社外への情報開示に活用可能な“サステナビリティ経営方針”のデータと、ツールを活用した分析結果を踏まえたフィードバックレポートをご提供します。（ご希望に応じて、本サービス利用にかかる当行からのニュースリリースも可能）

・ご希望に応じて、グループ機能とアライアンスを活用した具体的な計画策定支援や実行支援（別契約）を通じて、サステナビリティ経営の実践・浸透をサポートします。

○サービス概要

取 扱 店	法人取引のある当行の全営業店
対 象 と な る 方	当行と預金取引のある法人のお客さま
サ ー ビ ス 内 容	経営資源や経営理念、外部環境などを踏まえ、経営者との複数回の対話によってお取引先のサステナビリティ経営の主軸となるマテリアリティを特定し、“サステナビリティ経営方針”策定までを支援するサービスで、最終的な成果物として①・②を提供するもの ①策定した“サステナビリティ経営方針”のデータでの提供 （策定した方針は希望に応じて当行ホームページにてニュースリリース可能） ②お取引先のサステナビリティ経営導入・向上の参考となるレポートの提供 経営者との対話やアンケート、専用ツールによる分析過程などを踏まえた10ページ程度のレポートを作成し、フィードバック実施
利 用 手 数 料	1,100,000 円（消費税込）